

平成26年度 事業報告

目 次

◎ 平成 26 年度外国人旅行者の概況

◎ 事業実施状況

I 公益目的事業

1 海外からの旅行者誘致に関する事業

- (1) 観光マーケティング事業
- (2) 観光プロモーション事業
- (3) 東京観光レップの運営
- (4) 情報発信
- (5) 海外青少年の教育旅行受入促進事業
- (6) 民間事業者との連携強化

2 コンベンション誘致に関する事業

- (1) ビジネスイベントのマーケティング調査・分析等業務
- (2) 国際会議誘致・開催支援事業
- (3) 企業系ビジネスイベントの誘致開催支援事業
- (4) ビジネスイベント情報発信
- (5) ビジネスイベントプロモーション基盤の構築
- (6) ユニークベニューの利用促進プログラムの提供
- (7) 東京ビジネスイベント先進エリア支援事業
- (8) 人材育成事業

3 地域の観光振興に関する事業

- (1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興
- (2) 東京シティガイド検定の実施
- (3) 東京ロケーションボックスの運営
- (4) 被災地応援ツアー事業

4 観光情報の発信に関する事業

- (1) 東京の観光情報発信に関する事業
- (2) TCVB 活動の広報に関する事業

5 会報発行事業

- (1) 会報等の発行

II 収益事業

1 旅券交付に伴う東京都手数料徴収及び収入印紙販売事業

2 ガイドマップ等の販売事業

Ⅲ その他事業

- 1 委員会の開催
- 2 オリンピック・パラリンピック開催に向けた取組
- 3 会員情報交換会の開催

平成 26 年度 事業 の 概 要

◎ 平成 26 年度外国人旅行者の概況

日本政府観光局（J N T O）統計によると、平成 26 年度*の訪日外国人旅行者数は、ビザ発給要件の大幅緩和や消費税免税制度の拡充のほか、円安の進行による訪日旅行の割安感の浸透等が寄与し、平成 27 年 3 月には単月として過去最多の 152 万 6 千人を記録するなど、前年度比 33.6%増で約 1,500 万人に迫る勢いであった。また、訪都外国人旅行者数についても、第 3 四半期には前年同期比で 34.3%増となるなど、順調に増加で推移した。

*平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月までの統計

◎ 事業実施状況

I 公益目的事業

1 海外からの旅行者誘致に関する事業

(1) 観光マーケティング事業

- プロモーション対象地域において、市場動向や有望旅行者層等を調査分析し、今後のプロモーション戦略を構築した。
- 訪都外国人旅行者誘致事業の効果について、複数市場において成果指標 K P I を用いた調査・分析を行った。

(2) 観光プロモーション事業

- アメリカ（ニューヨーク・ロサンゼルス）において、観光セミナー等を開催するとともに、レストランキャンペーンを実施した。
- 今後の訪日旅行者の増加が期待されるインドネシア及びベトナムにおいて、観光セミナー及び商談会を開催した。また、中国、台湾、タイ及びマレーシアにおいて、旅行博に出展参加するとともに、主要旅行事業者へのセールスコールを実施した。さらに、タイにおいては広告を活用したプロモーションを、韓国、香港及びシンガポールでは現地旅行会社に対する販売支援活動を実施した。
- オリンピック・パラリンピック開催決定の機会を捉え、アメリカ、インドネシア、ベトナムの航空会社機内誌等への広告掲載によるプロモーションを実施した。

- 海外から東京に取材に来るメディアに対してサポートを行い、記事や映像の作成を働きかけた。また、東京観光レップ設置地域やアジア地域から旅行事業者を招聘し、東京の魅力を体験してもらうとともに、都内観光事業者との商談会を実施した。
- 中国において、東北各県（岩手、福島、宮城）の自治体等と共同で商談会を開催するとともに、旅行事業者の招聘事業も実施した。
- 観光庁及び日本政府観光局主催の国内インバウンド商談会に参加した。

(3) 東京観光レップの運営

観光プロモーションの対象地域である北米、欧州及び豪州等において、東京観光レップによる現地旅行会社等への情報提供や商品企画のサポートを行った。

(4) 情報発信

- 韓国、台湾、中国、香港、東南アジア諸国等のプロモーション対象地域の現地旅行事業者やメディア等を対象に、東京の最新情報を発信した。
- 欧米豪を対象とする観光プロモーションやファムトリップ（招聘）で交流のある現地旅行事業者やメディア等を対象に、東京の最新情報を配信した。

(5) 海外青少年の教育旅行受入促進事業

都内学校関係者への説明会を開催するとともに、海外の学校からの交流受入を支援した。

(6) 民間事業者との連携強化

- TCVBワークショップを開催し、賛助会員等民間事業者に対して、最新のトレンドや取組等に関する情報を提供した。
- 海外の観光関連事業者が実施する訪都視察等に対して、民間事業者等とも連携してサポートを行った。

2 コンベンション誘致に関する事業

- 東京開催コンベンションの実績（2013年）
 - ・国内基準
 - 会議開催件数 537件
 - ・国際基準
 - 会議開催件数 228件

- (1) ビジネスイベントのマーケティング調査・分析等業務
- ア 国際会議マーケティング調査・分析
国際会議について、競合都市との比較分析等を実施し、東京における国際会議の誘致戦略モデル構築のための情報収集を行った。
 - イ KPIによる効果測定（企業系ビジネスイベント）
企業系ビジネスイベントを効果的に誘致するための具体的施策に関するKPIについて、測定を行った。
- (2) 国際会議誘致・開催支援事業
- ア 国際会議誘致支援
 - ①誘致マーケティング活動
 - 開催意向調査の実施
国内の学会・協会事務局及び東京近郊の大学キーパーソンに対する開催意向調査を実施した。
 - 国内主催者等へのセールス活動
国内の会議主催者への誘致交渉を実施したほか、国内商談会（IME2014）に出展し、主催者との商談を実施した。
 - ②誘致プロモーション活動
海外会議主催者等の視察支援に加え、東京が開催地として立候補した大型国際会議について、ビッドペーパー（立候補書類）の作成や総会時でのプレゼンテーションなどの支援を行った。
 - イ 国際会議開催支援
東京開催が決定した国際会議に各種情報提供を行うとともに、大型国際会議において、ホスピタリティーチームの派遣、フラッグ等の掲出、都内観光ツアーや日本文化体験プログラムの提供等を行った。
 - ウ 国際会議誘致・開催資金助成等事業
国際会議を予定する1団体に対して誘致助成金を交付した。また、8件の国際会議に対してコンベンション開催資金等の登録を行った。
 - エ コンベンション統計事業
都内で開催された国際会議について、会議名や主催者名、参加者数等の調査を行った。
- (3) 企業系ビジネスイベントの誘致開催支援事業
- ア 海外トレードショーへの出展
海外商談会（IT&CM China、IMEX、IMEX America、EIBTM）に出展し、海外のプランナーとの商談を実施した。

- イ 企業系ビジネスイベント誘致支援事業
東京での開催を検討している7件の企業系ビジネスイベント主催者に対して、事前視察時の渡航や滞在に係る各種支援を行った。
 - ウ 企業系ビジネスイベント開催支援事業
東京での開催を検討している10件の企業系ビジネスイベント主催者に対して、ギブアウェイ提供やアトラクション派遣などイベント当日に係る各種支援を提案し、実施した。
 - エ 企業系ビジネスイベント誘致メニューの開発
特別感のある東京ならではのプログラムを開発し、パッケージ化した。
- (4) ビジネスイベント情報発信
- ア ビジネスイベント関連情報発信
ビジネスイベント専用のウェブサイトを定期的に更新するとともに、海外のプランナーやプレスに対し、ニュースレターやプレスリリースを送付した。
 - イ 企業系ビジネスイベント販促ブックレットの作成
開催地としての東京の魅力をPRするブックレットを1500部作成し、海外トレードショー等で配布した。
 - ウ 広告掲載によるPR強化
開催地としての東京の魅力をPRする広告を専門誌やトレードショー・ブリテンに掲載した。
 - エ 国内企業向け開催支援セミナー
企業系ビジネスイベントを主催する可能性のある都内企業向けに財団のサポート内容を周知するセミナーを2回開催した。
- (5) ビジネスイベントプロモーション基盤の構築
- 海外他都市が持つ知見や情報等の共有により国際会議誘致を拡大するため、誘致に積極的に取り組む海外主要都市のコンベンション・ビューローで構成される国際的なアライアンス組織「ベストシティーズ・グローバルアライアンス」（正式表記「BestCities Global Alliance」）に加盟した。
- (6) ユニークベニューの利用促進プログラムの提供
- 都内でユニークベニューを利用してレセプション等を行った2件のビジネスイベント主催者に対して、設営費の補助など様々な支援を行った。
- (7) 東京ビジネスイベント先進エリア支援事業
- 東京都が指定した先進エリア（大丸有、六本木周辺、臨海副都心）に対して、様々な助言、提案等を行った。

(8) 人材育成事業

ア コンベンション人材育成講座の実施

MICE 業界若手、大学生、社会人等幅広い層を対象に、首都大学東京オープンユニバーシティ講座を実施した。

イ ビジネスイベント専門人材に関する調査

M・I・C・E それぞれの分野において、関連事業者に求められる専門知識ノウハウを整理し、ビジネスイベント専門人材育成のあり方をまとめた。

3 地域の観光振興に関する事業

(1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興

ア 地域振興助成

地域観光団体による観光振興を目的とした事業に対して助成を行った。

イ 東京トラベルマートの実施

東京商工会議所との共催により、旅行商品の造成を目的とした商談会「東京トラベルマーケット」を開催した。

ウ 観光情報交換会の実施

旅行商品の造成やメディア掲載を目的として、観光協会や自治体、観光に関連する団体を対象に観光情報交換会を実施した。

エ 着地型観光研究会の開催

各観光協会における着地型旅行商品の開発事例や広域連携の仕掛けなどの観光振興の事例について、専門家等の話をもとに討議する場として着地型観光研究会を開催した。

オ 観光団体等との連携

(社)日本観光振興協会、大都市観光協会連絡協議会の総会等に参加したほか、地域団体に対しての情報提供や情報交換を行った。

共催・協賛事業への参画や後援、外部委員への就任などを通じ、観光関連団体等との連携を図った。

(2) 東京シティガイド検定の実施

国内・海外からの訪都旅行者に対して東京の魅力を紹介できる人材を育成することを目的に、検定試験及び受験対策セミナーを実施した。

(3) 東京ロケーションボックスの運営

都内における映画、ドラマ等の撮影に係わる各種の相談窓口として、「東京ロケーションボックス」を運営し、各種の問い合わせに対応した。

(4) 被災地応援ツアー事業

福島県、及び伊豆大島の観光振興と地域経済の復興を支援するため、旅行事業者と連携して「福島・被災地応援ツアー」及び「伊豆大島・復興応援ツアー」を実施した。

4 観光情報の発信に関する事業

(1) 東京の観光情報発信に関する事業

ア ウェブサイトによる情報発信

東京の観光公式サイト「GO TOKYO」により東京の観光情報の発信を行うとともに、バナー広告収入を確保した。

ページビュー件数 49,944,206 件

イ SNS による情報発信

SNS (Facebook・Weibo 等) を活用して、東京都内各地の観光情報を発信した。

読者数 316,295 人

ウ ウェルカムカードの製作

ハンディガイド・ハンディマップ・エリアマップの作成にあたり、構成・配布先・言語別印刷数の見直しを行うとともに、広告収入を確保した。

エ 東京観光情報センター等の管理運営

① 東京観光情報センター

- ・都庁本部 (都庁第一本庁舎 1 階)
- ・羽田空港支所 (羽田空港国際線旅客ターミナル)
- ・京成上野支所 (京成上野駅改札口前)

来場者数計 607,030 人 問い合わせ件数計 372,376 件

② 全国観光PRコーナー (都庁第一本庁舎 2 階)

来場者数 232,613 人 問い合わせ件数 21,444 件

オ おもてなし親善大使育成塾

中高生を対象に、オリンピック・パラリンピック開催に向けた夢を育てるとともに、外国人旅行者への対応方法や東京ならではの「おもてなし」の手法を学ぶ「おもてなし親善大使育成塾」を実施した。

カ 東京マラソン応援観光マップの作成、臨時観光案内所の設置・運営

① 東京マラソン応援観光マップの作成

東京マラソンコース、応援ポイント、周辺の観光スポット、イベント情報等を盛り込んだマップを作成・配布した。

② 臨時観光案内所の設置・運営

東京マラソンの開催に合わせて来訪した国内外の旅行者に対して、東京の魅力を経験してもらうため、臨時の観光案内所を設置・運営した。

キ 外国語メニュー作成支援サイトの構築

都内飲食店等における外国人旅行者の受入環境整備を図るため、多言語メニュー作成支援サイト「EAT 東京」を開設・運用した。

ク 東京大マラソン祭りフォトコンテストの実施

東京マラソン（平成 27 年 2 月 22 日）にあわせ、東京都との共催で「東京大マラソン祭り 2015 フォトコンテスト」を実施した。

(2) TCVB 活動の広報に関する事業

ア TCVB 活動概要の作成

インバウンド誘致やビジネスイベントの誘致促進等に係る TCVB の活動を海外に対して効果的に PR するため、新たに英語版のウェブサイトを作成した。

5 会報発行事業

(1) 会報等の発行

ア 「TCVB NEWS」の発行（年 4 回）

配布先：賛助会員、マスコミ、関係機関

イ TCVB メール速報の配信（56 回）

配信先：賛助会員、関係機関

II 収益事業

1 旅券交付に伴う東京都手数料徴収及び収入印紙販売事業

収入印紙年間販売枚数 303,000 件

2 ガイドマップ等の販売事業

東京教育観光マップ、「YES!TOKYO」グッズ、絵はがき、書籍などを販売した。

Ⅲ その他事業

1 委員会の開催

- (1) タウンアメニティ委員会の実施
東京のエリアごとの街の魅力を検証し、観光振興に取り組むことを目的として、講演会と視察会を計4回実施した。
- (2) アジアセールス委員会の実施
アジアからのインバウンド促進のため、講演会のほか、参加賛助会員の情報提供及び財団の事業内容についての報告等、情報交換を目的として計3回実施した。
- (3) コンベンション委員会の実施
コンベンション誘致及び開催のための手法を総合的に検討するため、講演会を計3回実施した。

2 オリンピック・パラリンピック開催に向けた取組

海外諸都市で開催された旅行博等における東京観光プロモーションにあたり、出展ブースやセミナーにおいて、現地の旅行事業者や市民向けに開催PRを行った。

3 会員情報交換会の開催

観光関連事業者の交流を目的とした会員情報交換会「交流の集い」を開催し、118社の参加を得た。

平成 26 年度 事業 報告

◎ 平成 26 年度外国人旅行者の概況

日本政府観光局（JNTO）統計によると、円安の進行による訪日旅行の割安感の浸透やビザ発給要件の大幅緩和、消費税免税制度の拡充等が寄与し、平成 27 年 3 月には単月として過去最高の 152 万 6 千人を記録するなど、平成 26 年度*の訪日外国人旅行者数は、前年度比 33.6%増で約 1,500 万人に迫る勢いであった。また、訪都外国人旅行者数についても、第 3 四半期には前年同期比で 34.3%増となるなど、順調に増加で推移した。

*平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月までの統計

◎ 事業実施状況

I 公益目的事業

1 海外からの旅行者誘致に関する事業

(1) 観光マーケティング事業 <東京都受託事業>

訪都外国人旅行者の増加を目指し、効果的に観光プロモーションを実施していくため、タイ市場における消費者や流通市場、現地トレンド等を総合的に調査分析し、有望旅行者層に対するプロモーション戦略を構築した。

また、訪都外国人旅行者誘致の効果について、19 市場（欧米豪、東アジア、東南アジア）において成果指標 KPI（Key Performance Indicator）を活用して、今後の効果的なプロモーションに向けて、調査・分析を行った。あわせて、平成 25 年度観光プロモーションを実施した成長開拓市場（ベトナム・インドネシア）において、その効果検証を行った。

(2) 観光プロモーション事業 <東京都受託事業・一部東京都負担金事業>

ア 現地でのプロモーション活動

(ア) 欧米豪

アメリカの 2 都市（ニューヨーク・ロサンゼルス）において「東京の食」を全体の中心となる訴求テーマとし、「Quality：世界が認める美味しさ」、「Variation：あらゆるニーズに応える多様性」、「Culture：日本文化の表現としての食」の 3 つを中心にプロモーションを展開した。

・ニューヨーク

メディアとの意見交流会（平成 26 年 10 月 27 日）

旅行会社向けセミナー、交流会（平成 26 年 10 月 28 日）

レストランキャンペーン：現地レストラン 21 店舗と連携し、東京の食や観光情報、訪都旅行商品等を一般市民向けに紹介（平成 26 年 11 月 1 日から 11 月 30 日）

・ロサンゼルス

旅行会社及びメディア向けセミナー、交流会（平成 26 年 10 月 30 日）

レストランキャンペーン： 現地レストラン 21 店舗と連携し、東京の食や観光情報、訪都旅行商品等を一般市民向けに紹介（平成 26 年 11 月 1 日から 11 月 30 日）

(イ) アジア

① 成長開拓市場における現地プロモーション

経済成長が著しく、今後の訪日旅行者の増加が期待されるインドネシア及びベトナムにおいて、東京の観光プロモーションを初めて実施し、東京の観光関連の民間事業者と連携して、多彩な東京の魅力を紹介した。

- ・ベトナム（ハノイ）：メディア向け観光セミナー（平成 27 年 1 月 26 日）
旅行会社向け観光セミナー及び商談会（平成 27 年 1 月 27 日）
- ・インドネシア（ジャカルタ）：旅行者向け観光セミナー及び商談会
（平成 27 年 1 月 29 日）
メディア向け観光セミナー（平成 27 年 1 月 30 日）

② 旅行博等への出展及びセールスコールの実施

各国で開催された旅行博等に出展するとともに、主要旅行事業者等に対するセールスコールを実施し、最新の東京情報の提供と、商品造成のための資料提供、情報交換を行った。

- ・中国 BITE 出展及びセールスコール（平成 26 年 6 月 24 日～30 日）
- ・マレーシア MATTA 出展及びセールスコール（平成 26 年 9 月 2 日～10 日）
- ・台湾 ATTA 出展及びセールスコール（平成 26 年 9 月 29 日～10 月 7 日）
- ・フィリピン Visit Japan セミナー・商談会（平成 26 年 11 月 18 日～22 日）
- ・タイ TITF 出展及びセールスコール（平成 27 年 2 月 22 日～3 月 2 日）

③ 広告を活用したプロモーションの実施

成長著しいタイ市場において、ファム（旅行会社招聘事業）に参加した現地旅行会社と連携し、バンコクを中心に広告等を活用し、集中的に東京観光の魅力を PR した。具体的には SNS を使ったキャンペーンの実施、有力なウェブサイトや SNS、旅行雑誌等での広告実施、ブロガーを招聘し東京観光の PR 記事投稿を行うなど、現地の潜在訪都旅行者層に対し東京観光情報との接触機会を高めた。また、タイ語パンフレット、クーポンブックの提供により、東京旅行のイメージ具現化にも努め、総合的な訪都意欲の喚起を図った。

④ 現地旅行会社に対する販売支援活動

韓国、香港、シンガポールの三市場からの送客を更に増加させるため、現地の有力旅行雑誌や旅行情報サイト、SNS 等に、東京の魅力を訴求する記事や訪都旅行商品を積極的に販売している旅行会社の広告を掲載するとともに、成約者特典としてオリジナルグッズを製作・提供した。

(ウ) 2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催決定を契機とした PR <東京都受託事業> オリンピック・パラリンピック開催決定の機会を捉え、機内誌や旅行サイト等の広告を活用したプロモーションを実施した。

① 機内誌への広告の掲出（1 月）

- ・アメリカ デルタ航空機内誌 SKY
- ・インドネシア ガルーダ・インドネシア航空機内誌 Colours
- ・ベトナム ベトナム航空機内誌 HERITAGE

② 特設ページの企画・運営（1 月 19 日～3 月 18 日）

Lonely Planet のウェブサイトにて、東京の観光情報を掲載した。

イ 招聘によるプロモーション活動

(7) 海外メディアの招聘

海外から東京に取材に来る新聞、雑誌、テレビ等のメディアに対して、情報提供等サポートを行い、東京の魅力的な記事や映像の作成を働きかけた。

メディア招聘件数：33件（イギリス、フランス、中国、タイ等）

(4) 東京観光レップによる海外旅行事業者の招聘

東京観光レップ設置地域から有力旅行事業者を招聘し、各市場や旅行者層のニーズに応じて、東京の魅力を体験する機会を提供するとともに、都内観光事業者との商談会を開催した。あわせて、東京観光レップによるセミナーやシンポジウムも開催した。

- ・期間 平成26年5月26日～5月31日
- ・被招聘者 29名
- ・商談会及びセミナー参加企業数 80社187名

(5) 販売促進に向けた海外旅行エージェントの招聘

東京観光レップ設置地域から、主に旅行商品の販売に積極的な旅行事業者に情報提供や東京の魅力を体験する機会提供等、都内視察のサポートを行い、訪都旅行商品の販売強化を働きかけた。

- ・エージェント招聘件数 6件32名

(6) アジアからの旅行事業者招聘事業

アジア地域から旅行事業者を招聘し、東京の魅力を体験してもらうとともに、都内観光事業者との商談会を開催した。

- ・中国（北京、青島） 平成26年7月13日～7月18日 被招聘者9名
- ・タイ 平成26年12月1日～12月5日 被招聘者6名

ウ 広域連携事業

岩手県、福島県、宮城県、公益社団法人宮城県観光連盟と共同で、上海・大連においてセミナー・商談会を開催し、魅力あるコース提案や商品への組み込み等のアピールと情報収集を行った。また、1月には東北地方と東京を体験してもらう招聘事業を実施した。

- ・上海セミナー・商談会 平成26年10月28日
- ・大連セミナー・商談会 平成26年10月30日
- ・招聘事業 平成27年1月12日～17日（うち東京は1月16日～17日）
被招聘者8名

エ インバウンド商談会（国内）

観光庁及び日本政府観光局主催の各種国内インバウンド商談会に参加した。

- ・東アジア商談会 平成26年4月14日（グランドプリンスホテル新高輪）
- ・Japan ASEAN+India Travel Mart 2014 平成26年6月3日～4日（パシフィコ横浜）
- ・Visit JAPAN Travel Mart 2014 平成26年9月24日～26日（東京ビッグサイト）

(3) 東京観光レップの運営〈東京都受託事業〉

東京観光レップを通じて現地旅行会社、メディア等への情報提供、セールスツールを活用したセールス活動、現地の情報収集等を実施した。

- ・東京観光レップ設置都市
 (北米) ロサンゼルス、サンフランシスコ、ニューヨーク、トロント
 (欧州) ロンドン、ミュンヘン、ミラノ、マドリード、パリ
 (豪州) シドニー
- ・主要旅行博への出展 (7都市)
 ロンドン、ロサンゼルス、マドリード、ミラノ、トロント、ミュンヘン、パリ
- ・広告掲載支援 (6都市)
 ロサンゼルス、ニューヨーク、マドリード、ミュンヘン、シドニー、パリ
- ・市民向けイベント開催 (2都市)
 ロンドン、ミラノ
- ・リテラー向けセミナー (6都市)
 ニューヨーク、サンフランシスコ、ミラノ、ミュンヘン、マドリード、トロント
- ・WEB作成 (4都市)
 ミュンヘン、ミラノ、マドリード、パリ

(4) 情報発信<一部東京都受託事業>

ア ニュースレターによる東京情報の提供

韓国、台湾、中国、香港、東南アジア諸国など、プロモーション対象地域の現地旅行会社やメディア等を対象に、東京の最新情報等を掲載した「TCVB ニュースレター」(アジア向け)を4回発行した。発送に際しては、賛助会員を対象とした紹介パンフレット等の同封サービス(有料)を実施した。

イ メールマガジン「e-Tokyo Today」の配信 <東京都受託事業>

観光プロモーションや招聘事業で交流のある欧米豪の現地旅行会社やメディア等を対象として東京の最新情報を配信した。

(5、7、9、11、1、3月の6回)

(5) 海外青少年の教育旅行受入促進事業 <東京都受託事業>

- ① 東京都訪日教育旅行促進協議会 (2回)
- ② 受入意識調査の実施 (回答数 225 件 (高校、教育委員会))
- ③ 都内学校関係者への学校交流受入説明会の実施 (1回)
- ④ 個別説明の実施 (10校)
- ⑤ 学校交流の実施・支援 (28校)

(6) 民間事業者との連携強化

ア TCVBワークショップの開催

<第1回>

日時：平成26年6月24日

内容：講演「クールジャパン」を世界に！外国人観光客を増やそう

講師：堤和彦氏 (株式会社NHKエンタープライズ制作本部 情報文化番組エグゼクティブ・プロデューサー)

参加人数：36社59名

<第2回>

日時：平成26年8月5日

内容：講演「クールジャパン」の推進と観光について

講師：多葉田 聡氏（経済産業省 商務情報政策局 生活文化創造産業課（クリエイティブ産業課）観光・集客産業戦略調整官）

参加人数：33社50名

<第3回>

日時：平成26年10月2日

内容：講演「訪日事業にデジタルが貢献できること」

講師：陳内 裕樹氏（グーグル株式会社 営業本部 統括部長（旅行業界））

参加人数：38社58名

<第4回>

日時：平成26年11月13日

内容：講演「ラグビーワールドカップ2019 スポーツツーリズムにおける活用法と可能性」

講師：伊達 亮氏（公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会 事業部長）

参加人数：30社42名

<第5回>

日時：平成27年2月10日

内容：講演「魅力は街にある：日常風景を「アート」にする取り組み事例とその反応」

講師：森 隆一氏（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化発信プロジェクト室）

参加人数：22社25名

<第6回>

日時：平成27年3月2日

内容：講演 きゃりーぱみゅぱみゅから観光案内書まで：

アソビシステムさんに聞く『観光』を盛り上げるためのヒント

講師：中川 悠介氏（アソビシステム株式会社 代表取締役）

参加人数：32社49名

イ TCVB自主プロモーション

海外の旅行事業者等が実施する東京視察に対して、民間事業者等とも連携し、情報提供等必要なサポートを行った。

2 コンベンション誘致に関する事業

○ 東京開催コンベンションの実績

① 国内基準（「2013年国際会議統計」日本政府観光局（JNTO）データ）

会議開催件数 537件

国内都市別順位 1位

② 国際基準（「国際団体連合（UIA）統計2013」）

会議開催件数 228件

国際都市別順位 5位

(1) ビジネスイベントのマーケティング調査・分析等業務<東京都受託事業>

ア 国際会議マーケティング調査・分析

国際会議について、最新のトレンドや海外先進都市や競合都市の事例調査・分析、東京のSWOT分析等の業務を実施し、東京における国際会議誘致戦略モデルを構築するための情報収集を行った。

イ KPIによる効果測定(企業系ビジネスイベント)

企業系ビジネスイベントの具体的施策を測定するために設定されたKPIについて、測定を行った。

(2) 国際会議誘致・開催支援事業<一部東京都受託事業>

ア 国際会議誘致支援

① 誘致マーケティング活動

・開催意向調査の実施

国内の学会・協会事務局及び東京近郊の大学キーパーソン3,507人に対し、開催意向調査を実施した。

・会議主催者への誘致活動

開催の可能性のある国際会議の国内対応団体等に対し、コンベンション開催に必要な情報(会議施設、宿泊施設、アフターコンベンション情報、支援策等)を積極的に提供し、東京への誘致に努めた。

・国内見本市への共同出展

東京国際フォーラムで開催された「第24回 International Meeting Expo (IME) 2014」(平成26年12月9日~10日)において、民間事業者6社と共同出展を行うとともに、10社が資料参加した。

・国内都市選定時の誘致活動

国内都市選定の際に、「コンベンション都市・東京」の優位性をアピールしたプロポーザルの作成やプレゼンテーションを実施した。

② 誘致プロモーション活動

・海外会議主催者等の視察支援

平成26年9月2日~5日 英国メディア協会系主催者 2名

平成26年9月28日~10月1日 豪州建設協会系主催者 2名

・開催決定への支援活動

東京での開催を前提として立候補した大型国際会議について、ビッドペーパー(立候補書類)等の誘致ツール作成支援のほか、海外での総会等において東京での開催をアピールした。

イ 国際会議開催支援

① 開催運営への支援活動

東京開催が決定した国際会議に、宣伝ツールの提供、観光や文化体験プログラム等に関する情報の提供、会議運営に関する情報の提供などを行った。

② 国際会議開催支援プログラム<東京都受託事業>

東京の魅力をもっとPRし参加者の満足度を高め、再来訪につなげるとともに、口コミ効果など、参加者を通じた観光プロモーションによるインバウンドの促進を図るため、東京で開催された以下の大規模国際会議に対し、ホスピタリティチームの派遣、フラッグ等の掲出、都内観光ツアーの実施や日本文化体験プログラムの提供等を行った。

- ・国際眼科学会（WOC）
期間：平成26年4月2日～6日
会場：東京国際フォーラム、帝国ホテル
- ・国際鳥類学会議（IOC）
期間：平成26年8月18日～24日
会場：立教大学
- ・国際法曹協会年次総会（IBA）
期間：平成26年10月19日～24日
会場：東京国際フォーラム
- ・国際電気標準会議東京大会（IEC）
期間：平成26年11月4日～15日
会場：東京国際フォーラム
- ・国際早期精神病学会議（IEPA）
期間：平成26年11月16日～19日
会場：京王プラザホテル

ウ 国際会議誘致・開催資金助成等事業＜東京都補助金事業＞

① 国際会議誘致支援事業

東京都内で国際会議の開催を予定する1団体に対し、誘致活動経費の一部を助成する誘致助成金を交付した。

② 国際会議開催助成事業

コンベンション開催助成の交付対象会議として、8件の国際会議が登録され、うち4件の開催地が東京に決定した。

- ・第8回世界水素エネルギー技術大会（WHTC）（1,000名）
- ・第81回国際体操連盟総会（1,700名）等

エ コンベンション統計事業

日本政府観光局（JNTO）等が公表するコンベンション統計に用いるデータとして提供するため、都内で開催されたコンベンションについて、会議名や主催者名、参加者数等の調査を行った。

(3) 企業系ビジネスイベントの誘致開催支援事業 ＜一部東京都受託・補助金事業＞

ア 海外トレードショーへの出展

- ・上海 MICE 見本市（IT & CM China）（平成26年4月15日～17日）
- ・フランクフルト MICE 見本市（IMEX）（平成26年5月20日～22日）
- ・ラスベガス MICE 見本市（IMEX America）（平成26年10月14日～16日）
※民間事業者2者と共に出展
- ・バルセロナ MICE 見本市（EIBTM）（平成26年11月18日～20日）

イ 企業系ビジネスイベント誘致支援事業 ＜東京都補助金事業＞

東京での開催を検討している7件の企業系ビジネスイベント主催者に対し、視察時の渡航費や滞在費を補助するとともに、視察団のニーズを踏まえた視察のコース設定や都内サプライヤーの紹介などを行った。

- ・保険会社インセンティブツアー（1,200名・インドネシア）
- ・石油会社インセンティブツアー（1,200名・グローバル）等

ウ 企業系ビジネスイベント開催支援事業 <東京都補助金事業>

東京での開催を検討している10件の企業系ビジネスイベント主催者に対し、ギブアウェイやパーティーへのアトラクション派遣、空港等での出迎えの提供を提案し、実施した。

- ・保険会社インセンティブツアー（約600名・スペイン）
- ・時計メーカーインセンティブツアー（約400名・中国）等

エ 企業系ビジネスイベント誘致メニューの開発 <東京都受託事業>

誘致競争を有利に進めるため、企業系ビジネスイベントの参加者が体験できる、特別感のある東京ならではのプログラムを開発し、次年度より主催者やミーティングプランナーに提案できるようパッケージ化した。

(4) ビジネスイベント情報発信 <一部東京都補助金事業>

ア ビジネスイベント関連情報の発信

国内外の主催者・プランナーに対して、東京でのコンベンション開催に必要な情報を提供するため、ホームページの定期更新を行った。また、海外のプランナーやプレスに対して「eNewsletter」を年6回配信するとともに、プレスリリースも行った。

イ 企業系ビジネスイベント販促ブックレットの作成 <東京都補助金事業>

企業系ビジネスイベントの目的地としての東京をPRし、ビジネスイベントの誘致を促進することを目的として、東京の魅力を紹介するブックレットを1500部作成し、海外トレードショーで配布したほか、ミーティングプランナー・主催企業や関係事業者に広く配布した。

ウ 広告掲載によるPR強化 <東京都補助金事業>

企業系ビジネスイベントの目的地としての東京をPRする広告デザインを制作し、以下のビジネスイベント専門誌やトレードショー・ブリテンに掲載、開催地としての東京の魅力をPRした。

- ・IMEX Frankfurt 平成26年5月20日～5月22日（日刊）
- ・IMEX America 平成26年10月14日～10月16日（日刊）
- ・Cei 5月号、10月号
- ・Mix 8・9月号、12・1月号
- ・TTG MICE 7月号、10月号

エ 国内企業向け開催支援セミナー <東京都補助金事業>

都内に立地する日系グローバル企業や外資系企業のイベント担当者に対して、東京で企業系ビジネスイベントを開催する際のサポート体制やメリットを周知するセミナーを2回開催した。

(5) ビジネスイベントプロモーション基盤の構築 <東京都補助金事業>

海外他都市が持つ知見や情報等の共有により国際会議誘致を拡大させていくため、国際会議誘致に積極的に取り組む海外主要都市のコンベンション・ビューローで構成される国際的なアライアンス組織「ベストシティーズ・グローバルアライアンス」（正式表記「BestCities Global Alliance」）に加盟した。

(6) ユニークベニューの利用促進プログラムの提供 <東京都受託事業>

都内でユニークベニューを利用したレセプション等を行った以下2件のビジネスイベント主催者に対して、設営費等の補助、会場側との諸調整などの支援を行った。

- ・2014年国際法曹協会(IBA:International Bar Association)年次総会
会期：平成26年10月19日～24日
レセプション会場：東京国際フォーラム 展示ホール+ロビーギャラリー
- ・第21回アジア・太平洋地域宇宙機関会議(Asia-Pacific Regional Space Agency Forum, APRSAF)
会期：平成26年12月2日～5日
レセプション会場：日本科学未来館

(7) 東京ビジネスイベント先進エリア支援事業 <東京都受託事業>

東京都が指定した以下の東京ビジネスイベント先進エリアにおいて、ビジネスイベント開催及び誘致能力を向上させるため、国際会議主催者等のニーズを踏まえた助言、提案等の支援を行った。

- ・大手町・丸の内・有楽町地区
- ・港区 六本木・赤坂・麻布エリア
- ・臨海副都心

(8) 人材育成事業 <東京都受託事業>

ア コンベンション人材育成講座の実施

ビジネスイベント誘致・運営に加え、観光全般にも精通した人材を輩出するため、ビジネスイベント業界の若手、大学生、社会人等幅広い層を対象に、首都大学東京オープンユニバーシティ講座としてMICE人材育成講座を実施した。

講座名 観光とMICEの見方・考え方

実施日 平成26年11月14日～12月9日

イ ビジネスイベント専門人材に関する調査

M・I・C・Eそれぞれの分野において、関連事業者に求められる専門知識ノウハウを整理し、ビジネスイベント専門人材育成のあり方をまとめた。

3 地域の観光振興に関する事業

(1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興

ア 地域振興助成 <東京都補助金事業>

地域観光団体を実施する新たな観光魅力の発掘、観光資源開発など、観光振興に寄与する事業に対して、18件の助成を行った。

申請団体	事業名
大多摩観光連盟	多摩げた食の祭典・大多摩B級グルメ
府中観光協会	観光キャラクター着ぐるみ制作
狛江市観光協会	こまえ産枝豆ビアガーデン
中野区観光協会	ワールドカップサッカーパブリックビューイング
渋谷観光協会	イベント・カレンダー作成・配布
大多摩観光連盟 奥多摩観光協会	ふるさと祭り東京 2015 出展事業
府中観光協会 調布市観光協会	ふるさと祭り東京 2015 出展事業
上野観光連盟	上野・東京ライオン開業イベント 上野ディスプレイエキスポ
東京諸島観光連盟	旅まつり名古屋出展事業
あきるの観光協会五日市支部	秋川溪谷アウトドアグルメ掘り起し事業
日野市観光協会	映像等による日野の魅力発信事業
昭島観光まちづくり協会	昭島お楽しみマップ制作
中央区観光協会	東京マラソン EXPO2015 出展事業
神津島観光協会	ゆるきゃらの作成
三宅島観光協会	でかいの釣ろうぜ「三宅島」DVD 作成・販売
式根島観光協会	観光パンフレット作成 (3島連合プロジェクト) 英語版
立川観光協会	立川のおみやげマップ
文京区観光協会	観光PR誌「お散歩ブック」の作成

イ 東京トラベルマートの実施 <観光振興基金事業>

東京商工会議所との共催により、旅行商品の造成を目的とした商談会「東京トラベルマート」を開催した。

日 時：平成 26 年 8 月 29 日（金）

商談会：13：00～17：15 懇親会 17：30～18：30

出展団体：19 ブース（旅行会社）

参加団体：49 社（サプライヤー企業 37 社、自治体・観光協会等 12 団体）

ウ 観光情報交換会の実施

旅行商品の造成やメディア掲載を目的として、観光協会や自治体観光課、観光関連団体を対象に観光情報交換会を実施した。

日 時：平成 27 年 3 月 4 日（水）

特別企画「東京諸島観光説明会」12:30～13:30

商談会 13：30～16：30 懇親会 16：45～17：30

出展団体（自治体・観光協会等）：36 ブース

参加団体：38 社 50 名（旅行会社 16 社 24 名、メディア 22 社 26 名）

エ 着地型観光研究会の開催

各観光協会が着地型旅行商品を開発する際に抱える課題や問題点を念頭に置き、専門家等の講話をもとに着地型旅行商品の開発事例や広域連携の仕掛けなどの観光振興の事例を討議する場として4回開催した。

<第1回>

日 時：平成26年6月27日（金）

内 容：講演「予約サイトにおける東京の宿泊客のマーケット分析について」
～国内・インバウンドの予約データから～

講 師：楽天株式会社 トラベル事業

地域振興事業部 観光エリアグループ 曾根 奈津子 氏

国内営業部 Inbound グループ 中尾 弘志 氏

参加人数：44社73名

<第2回>

日 時：平成26年10月7日（火）

内 容：講演「“売れる”着地型商品のための情報発信と商品改善サイクルについて」
～まずは「取り組む、つくる」から「売れて、継続できる」へ～

講 師：株式会社リクルートライフスタイル

じゃらんリサーチセンター 主席研究員 加藤 史子 氏

参加人数：34社43名

<第3回>

日 時：平成26年12月10日（水）

内 容：講演1「映像を活用した着地型観光の可能性」

講師：特定非営利活動法人ジャパンフィルムコミッション

事務局長 室伏 多門 氏

講演2「Google+のユーザーのコンテンツを活用した情報発信について」

～日本を愛する一人ひとりの思いを世界に届ける～

講師：グーグル株式会社

プロダクトマーケティングマネージャー 山本 祐介 氏

参加人数：27団体30名

<第4回>

日 時：平成27年2月2日（月）

内 容：講演「これで伝わる地域の魅力！観光情報発信の課題と強み」
～旅行情報出版物の特性と、効果的な発信とは～

講 師：旅行読売出版社 編集長 神崎 公一 氏

参加人数：26団体30名

オ 観光団体等との連携

① 日本観光振興協会

地方自治体や地域観光団体、観光関連企業等で構成される公益社団法人日本観光振興協会の各種会合に参加し、情報交換を行うとともに、観光関係功労者表彰の推薦を行った。

○ 関東支部：総会 平成26年4月24日、評議員会 平成26年4月24日

○ 関東ブロック広域観光振興事業推進協議会 平成26年4月24日、7月29日

- 関東甲信越静観光協会・連盟協議会：総会 平成 26 年 4 月 24 日、委員会 7 月 15 日～16 日、10 月 21 日～22 日、平成 27 年 2 月 20 日
 - ふるさと観光展 IN 金沢駅 平成 26 年 6 月 19 日～21 日
18 団体資料等参加
- ② 大都市観光協会連絡協議会
大都市観光協会連絡協議会に参加し、各都市の観光振興事業等について、情報交換、意見交換を行った。
- 総会 平成 26 年 7 月 27 日
 - 事務主管者会議 平成 26 年 11 月 27 日～28 日
- ③ 地域団体との連携
地域観光団体等に対し情報提供を行うとともに、観光・地域振興について情報交換を行った。
- ふるさと祭り東京に大多摩観光連盟・奥多摩観光協会、府中観光協会・調布観光協会、及び商工会連合会が出展し、そのサポートを行った。
 - 「旅まつり名古屋 2015」に東京諸島観光連盟と連携して出展し、広域的な観光案内を行った。
 - 「Tokyo Grand Shopping Week」に対する共催支援を行った。また、外国人旅行者を対象としたイベントを開催した商店街振興組合「表参道櫺会」に対してサポートを行った。
- ④ 共催・協賛
- ・音楽祭の協賛
「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭 2014」
日時：平成 26 年 5 月 3 日～5 月 5 日 場所：東京国際フォーラム
主催：東京国際フォーラム
 - ・スポーツイベントへの協賛
「2014 WERIDE 三宅島 エンデューロレース」
日時：平成 26 年 11 月 15 日～11 月 16 日 場所：三宅島
主催：三宅島スポーツ振興会、三宅村

⑤ 後援

地域の観光協会等が主催する観光イベントや行事に対し、東京観光財団の後援名義を付して協力した。

<ul style="list-style-type: none"> ○第 26 回国際鳥類学会議 ○ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭 2014 ○東京愛らんどフェア「島じまん 2014」 ○第 3 回「多摩げた食の祭典・大多摩 B 級グルメ」 ○トキワ壮フォーラム第 3 回 ○丸の内仲通りガーデニングショー2014 ○第 2 回ドリーム夜さ来い祭り in ニューヨーク ○第 13 回ドリーム夜さ来い祭り ○平成 26 年度第 45 回文京つつじまつり ○平成 26 年度第 30 回文京あじさいまつり ○平成 26 年度第 29 回文京朝顔・ほおずき市 ○平成 26 年度第 36 回文京菊まつり ○平成 26 年度第 58 回文京梅まつり ○GTF 東京みつけ♪2014 ○はな街道 10 周年記念事業 日本橋・京橋を花で彩る 花壇デザインコンペティション 	<ul style="list-style-type: none"> ○2014 新宿エイサーまつり ○第 53 回文京区観光写真コンクール ○TOKYO おもてなしフェスタ 2014 ○Fete de la Musique au Japon 2014 東京・音楽の祭日 ○新宿オクトーバーフェスト 2014 ○東京マラソン 2015 ○第 30 回新宿御苑・森の薪能 ○国際都市おおたフェスティバル in 「空の日」羽田 ○東京中の地産市 ○「秋フェス」2014 秋 ○第 7 回都市型観光プログラム「TOKYO DISCOVERY」 ○東京ミチテラス 2014 ○ジャパンショッピングフェスティバル ○旅いくキッズフェスタ in 昭和記念公園 ○観光地域づくりシンポジウム in 東京 ○アマチュア無線フェスティバル ハムフェア 2014
---	---

⑥ 委員会等への参加

財団役員等が観光関連団体等の委員等へ就任し、活動に参画した。

<ul style="list-style-type: none"> ○「ECO EDO 日本橋」実行委員会 ○東京外かく環状道路（関越道～湾岸線）整備促進連絡会議 ○へブンアーティスト運営実行委員会 ○アジア舞台芸術祭実行委員会 ○公益財団法人東京都公園協会評議員会 ○一般社団法人墨田区観光協会理事会 ○中央区観光検定委員会 ○日本観光振興協会関東支部評議員会・関東ブロック広域観光事業推進協議会・関東甲信越静観光協会・連盟協議会委員会・都道府県指定都市観光協会会長等会議 	<ul style="list-style-type: none"> ○2020 年オリンピックパラリンピック大会に向けた多言語対応協議会・観光サービス分科会 ○東京商工会議所観光専門委員会 ○一般財団法人東京マラソン財団理事会 ○隅田川ルネサンス推進協議会 ○平成 26 年度全国高等学校総合体育大会東京都実行委員会 ○一般社団法人日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー理事会 ○関東観光推進会議 ○大都市観光協会連絡協議会 ○東京観光タクシー推進協議会 ○TOKYO ホテル実行委員会 ○大田区観光推進連絡協議会 ○文京区アカデミー推進計画協議会 ○文の京観光促進タウンガイドミーティング
--	---

(2) 東京シティガイド検定の実施

国内・海外からの訪都旅行者に対して東京の魅力を紹介できる人材の育成を目的として、「東京シティガイド検定」を実施している。

- ア 第12回東京シティガイド検定試験
 実施日時 平成26年12月7日
 会場 日本大学三崎町キャンパス
 受験者数 1,365名 (申込者数1,515名)
 合格者数 1,135名

- イ 試験対策セミナー
 日時 平成26年10月26日及び11月3日
 場所 東京しごとセンター 講堂
 参加人数 計233名

(3) 東京ロケーションボックスの運営 <東京都受託事業>

都内における映画、ドラマ等撮影に係る各種の相談窓口として、「東京ロケーションボックス」を運営している。ロケ地情報や撮影許可に関する施設との調整、警察・消防への許可申請手続きの指導・助言など、年間の問い合わせ件数は1,782件で、うち支援件数は486件だった。

対応実績

	映画		テレビ番組			Web 映像	スチ ール	ミュー ジック ビデオ	その他 のジャ ンル	撮影 以外	合計	
	劇場 映画	その他 映画	TV ドラ マ	その他 TV番 組	CM							
問合せ	209	68	323	520	205	67	103	106	117	64	1,782	
支援件数	112	29	150	65	32	21	27	23	27		486	
許 可	都立	9	2	13	4	0	1	2	0	2		33
	その他	10	8	14	10	5	4	7	5	6		69
	計	19	10	27	14	5	5	9	5	8		102

(4) 被災地応援ツアー事業 <東京都受託事業>

東日本大震災等により被害を受けた福島県と平成25年台風26号により被害を受けた伊豆大島の観光振興・地域経済の復興を支援するため、旅行事業者と連携して「福島・被災地応援ツアー」及び「伊豆大島・復興応援ツアー（平成26年度下期）」を実施した。

- ア 福島・被災地応援ツアー
 事業概要 旅行会社で購入する東京都から福島県への宿泊旅行と日帰り旅行に対し、宿泊旅行1泊3,000円、日帰り旅行1人1,500円の割引を行う。
 実施期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日

旅行会社 都内旅行会社 177 社
 実績 宿泊旅行 19,028 泊、日帰り旅行 12,786 人

イ 伊豆大島・復興応援ツアー

事業概要 旅行会社で購入する伊豆大島への宿泊旅行に対し、船利用 1 泊 6,000 円・2 泊 9,000 円、飛行機利用 1 泊 8,000 円・2 泊 11,000 円の割引を行う。

実施期間 平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

旅行会社 参加旅行会社 59 社（東京都、千葉県、神奈川県、静岡県）

実績 船利用 7,371 人 8,549 泊、飛行機利用 440 人 581 泊

4 観光情報の発信に関する事業

(1) 東京の観光情報発信に関する事業

ア ウェブサイトによる情報発信＜東京都補助金事業＞

国内外の旅行客等を対象に、新たにタイ語を加えた 9 言語 10 種類で東京の情報を継続的に発信した。

また、バナー広告を掲載し、広告収入を確保した。

言語	アクセス数 (H26.4月～H27.3月)
総合 TOP	142,965
日本語	30,785,241
英語	4,052,962
中国語（簡体字）	825,234
中国語（繁体字）	6,713,067
韓国語	701,173
ドイツ語	151,100
イタリア語	210,639
スペイン語	160,182
フランス語	193,529
タイ語	440,049
その他	5,568,065
合計	49,944,206

*アクセス数はページビューでカウント

*「その他」は、アクセス解析ソフトにより言語の区別がつかなかったページビュー及びモバイル日・英・中（繁体字）である。

イ SNS による情報発信＜東京都補助金事業＞

コミュニケーションツールや広報宣伝媒体として、その有用性が高く評価されている SNS を利用した広報宣伝活動（Tokyo Fan Club）を運営しており、Facebook や Weibo 等において、東京都内各地の旬の観光情報を発信した。

媒体	言語	読者数 (H27.3月末)
Facebook	日本語	3,494
	英語	120,756
	中国語 (繁体字)	81,829
	韓国語	8,021
	ドイツ語	2,980
	イタリア語	13,376
	スペイン語	19,704
	フランス語	11,294
	タイ語	35,153
	インドネシア語	1,558
	ベトナム語	448
Weibo	中国語 (簡体字)	17,682
合計		316,295

*読者数は「いいね！」をしている数をカウント

ウ ウェルカムカードの製作 <東京都補助金事業>

ウェルカムカード (ハンディガイド・ハンディマップ・エリアマップ) の内容を企画・更新するとともに、東京観光情報センターをはじめ、東京都観光案内窓口等を通じて旅行者に提供した。

また、広告掲載により、収入を確保した。

エ 東京観光情報センター等の管理運営

① 東京観光情報センター<東京都受託事業>

国内外の旅行者向けに東京の観光情報を提供するため、東京都庁、羽田空港、京成上野駅の3箇所で観光案内所を運営した。また、東京都観光案内窓口 (都内約150箇所) や、東京都観光ボランティアの管理運営も行った。

羽田空港支所については、平成27年1月より24時間化を開始した。

- ・場 所 都庁本部 (都庁第一本庁舎1階)
羽田空港支所 (羽田空港国際線旅客ターミナルビル2階)
京成上野支所 (京成上野駅改札口前)
- ・来場者数 合計 607,030人 (うち、外国人 391,178人/ 64%)
- ・問い合わせ件数 合計 372,376件 (うち、外国人 292,654件/ 79%)

② 全国観光PRコーナー<東京都受託事業>

全国各地域の魅力をPRするため、観光パンフレットの配布やPRイベントの開催、特産品の販売等を行った。

- ・場 所 都庁本部 (都庁第一本庁舎2階)
- ・来場者数 合計 232,613人 (うち、外国人 82,764人/ 36%)
- ・問い合わせ件数 合計 21,444件
- ・イベントコーナー実施件数 53自治体

オ おもてなし親善大使育成塾<東京都受託事業>

中高生を対象に、オリンピック・パラリンピック開催に向けた夢を育てるとともに、外国人旅行者への対応方法や東京ならではの「おもてなし」の手法を学ぶ「おもてなし親善大使育成

塾」を実施するとともに、おもてなし親善大使（修了生）を対象としたフォローアップ研修会を実施した。

・おもてなし親善大使育成塾 任命者数 109名

カ 東京マラソン応援観光マップの作成、臨時観光案内所の設置・運営

① 東京マラソン応援観光マップの作成 <東京都受託事業>

東京マラソンコース、応援ポイント、周辺の観光スポット、イベント情報等を盛り込んだマップを作成・配布した。

日本語版 73,000部

英語版 18,000部

② 臨時観光案内所の設置・運営 <東京都受託事業>

東京マラソン開催に合わせて来訪した国内外の旅行者に東京の魅力を体験してもらうため、東京マラソン EXP02015 会場（東京ビッグサイト内 2/19～21）と東京大マラソン祭り 2015 会場（有明イーストプロムナード内 2/22）に臨時の観光案内所を設置し、都内観光に関する情報提供を行った。

キ 外国語メニュー作成支援サイトの構築<東京都受託事業>

都内飲食店等における外国人旅行客の受入環境整備を図るため、多言語メニュー作成支援サイト「EAT 東京」を構築・運用した。

・サイト利用店舗数 783店舗（H27.3月末時点）

・飲食店等を対象にしたメニュー作成研修会 参加者数 202名

ク 東京大マラソン祭りフォトコンテストの実施

東京マラソン（平成27年2月22日）にあわせ、東京都との共催により、「東京大マラソン祭り2015フォトコンテスト」を実施した。

作品応募総数 204点

入賞作品 金賞2点、銀賞2点、銅賞3点 APA特別賞1点

入選11点 合計19点

（※作品展 東京観光情報センター都庁本部にて平成27年4月14日～27日まで開催）

（2）TCVB活動の広報に関する事業

ア TCVB活動概要の作成

インバウンド誘致やビジネスイベントの誘致促進等に係るTCVBの活動を海外に対して効果的にPRするため、新たに英語版のウェブサイトを作成した。

5 会報発行事業

（1）会報等の発行

ア 「TCVB NEWS」の発行

新たなコーナーの設置やタイムリーな情報収集に努めることで、読者の期待に応える紙面づくりを行った。

- ・回数、部数 4回（季刊）、毎850部
- ・体裁 A4サイズ4ページ、2色（※春号のみ6ページ）
- ・主な配付先 賛助会員、マスコミ、関係機関

イ TCVB メール速報の配信

速報性を活かした情報提供サービスの充実を目指し、会員及び関係機関へ週1～2回のペースで配信した。

- ・配信回数 56回

II 収益事業

1 旅券交付に伴う東京都手数料徴収及び収入印紙販売事業

都内4ヶ所（新宿、有楽町、池袋、立川）及び島しょ地域（9町村）において、東京都から受託した東京都手数料徴収業務を実施した。また、新宿郵便局長から受託した収入印紙の売りさばき業務を新宿旅券課内において行った。

※収入印紙年間販売枚数 303,000件（前年度実績：298,100件）

2 ガイドマップ等の販売事業

(1) 「YES!TOKYO」グッズの販売

東京教育観光マップ、東京観光情報センター都庁本部等において「YES!TOKYO」グッズ（ピンバッジ、ステッカー、手ぬぐい等）、絵はがき、ぐるっとパス、その他書籍などを販売した。

III その他事業

1 委員会の開催

(1) タウンアメニティ委員会の実施

東京のまちや施設等の魅力を様々なテーマに沿って検討し、観光振興・地域振興の観点から新たな魅力づくりや受入体制に関する講演会を4回開催した（うち1回は視察会を同時開催）。

第1回	平成26年7月31日	第2回	平成26年10月9日（視察会）
第3回	平成26年11月17日	第4回	平成27年3月27日

(2) アジアセールス委員会の実施

アジアからのインバウンドに焦点を当て、賛助会員による情報提供や財団の事業内容についての報告など、情報交換を目的として3回開催した。

第1回	平成26年7月11日	第2回	平成26年11月26日
第3回	平成27年3月26日		

(3) コンベンション委員会の実施

コンベンション誘致及び開催のための手法を総合的に検討することを目的として、最新のコンベンション施設を会場にした「虎の門ヒルズフォーラムの開発について」を開催したほか、京都におけるユニークベニューへの取り組み、日本旅行業協会のユニークベニュー活用事例などを紹介する講演会を3回開催した。

第1回 平成26年8月21日 第2回 平成26年12月11日
第3回 平成27年3月10日

2 オリンピック・パラリンピック開催に向けた取組

海外諸都市で開催された旅行博等における東京観光プロモーションにあたり、出展ブースやセミナーにおいて、オリンピック・パラリンピック開催に関する職員による直接的な説明やビデオ上映を行うなど、現地の旅行事業者や市民向けに開催PRを行った。

3 会員情報交換会の開催

全賛助会員を対象に、観光関連事業者の交流を目的とした会員情報交換会「交流の集い」を開催し、「需要を生み出せ まだまだ広がる観光振興！広がるビジネスチャンス!」をテーマとした講演会及び「広がるビジネスチャンス -事業の現場から-」を議題とした座談会を開催した。

開催日 平成27年2月17日 参加企業 118社